

## 在宅療養・ACP講座の実施報告について

## 1 主旨

在宅療養・ACPの普及啓発を図ることを目的とし、区民及び医療・介護関係者を対象に、「在宅療養・ACP講座」を実施したので報告する。

## 2 実施内容

## (1) 在宅療養講座（区民向け）

「わたらしい生き方、暮らし方を考える～知っておきたい在宅療養～」

日時：令和7年12月6日（土）午後2時から4時まで

会場：保健医療福祉総合プラザ

講師：五味一英氏（桜新町アーバンクリニック在宅医療部診療部長）

尾山直子氏（桜新町ナースケア・ステーション訪問看護師）

あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）職員

内容：【第1部】基調講演

【第2部】専門職による座談会・個人ワーク

【同時開催】学生によるACP啓発ポスター展示

（出展：駒澤大学経営学部小野瀬ゼミナール）

参加者：41人

## (2) ACP講座（医療・介護関係者向け）

「ガヤガヤ会議～世田谷で人生会議についてガヤガヤ話そう！～」

日時：令和8年1月23日（金）午後7時から9時まで

会場：保健医療福祉総合プラザ

講師：五味一英氏（桜新町アーバンクリニック在宅医療部診療部長）

林智史氏（東京医療センター院内感染対策副室長、骨折治療センター副センター長）

【第1部】基調講演

【第2部】ワールドカフェ方式によるグループワーク・発表

参加者：37人

## 3 受講者アンケート結果

P2～P8のとおり

# 在宅療養講座（区民向け）受講者アンケート結果

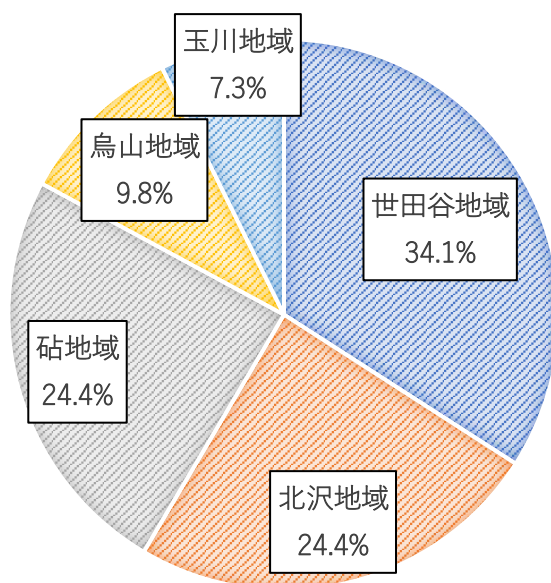
## 1 概要

- ・日時／場所：令和7年12月6日（土）午後2時～4時 / 保健医療福祉総合プラザ
- ・参加人数：41人

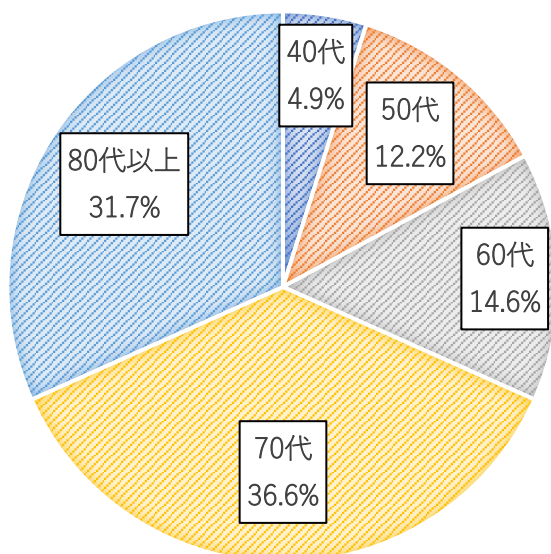
## 2 事後アンケート

- (1) 対象者数：41人
- (2) 調査方法：記入式アンケート ※自由記述欄は抜粋
- (3) 調査期間：令和7年12月6日（土）

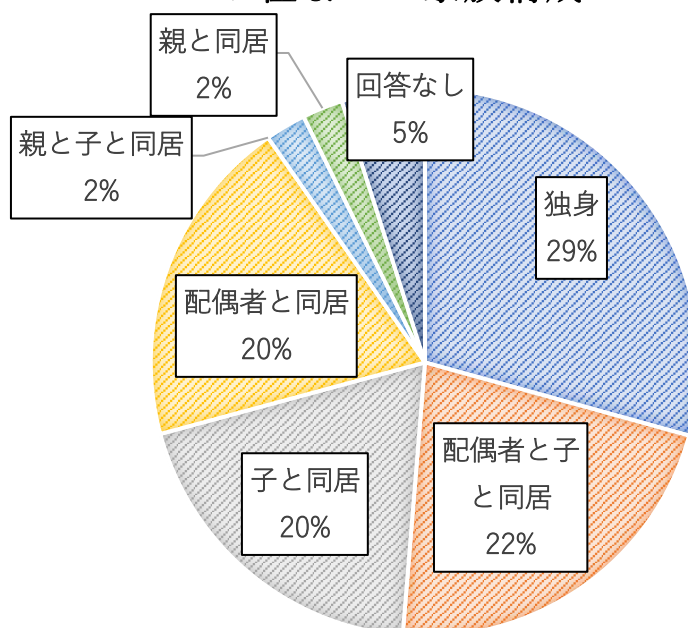
### お住まいの地域



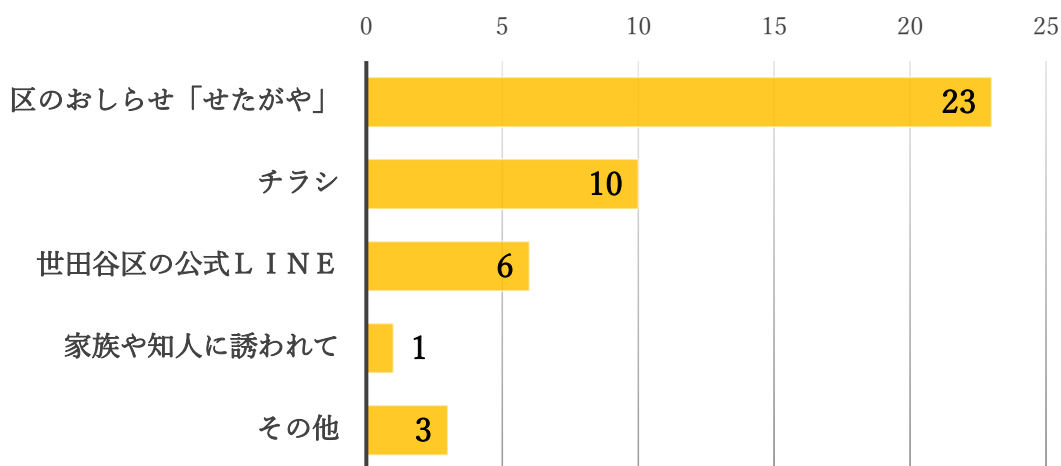
### 参加者の年齢層



## お住まいの家族構成



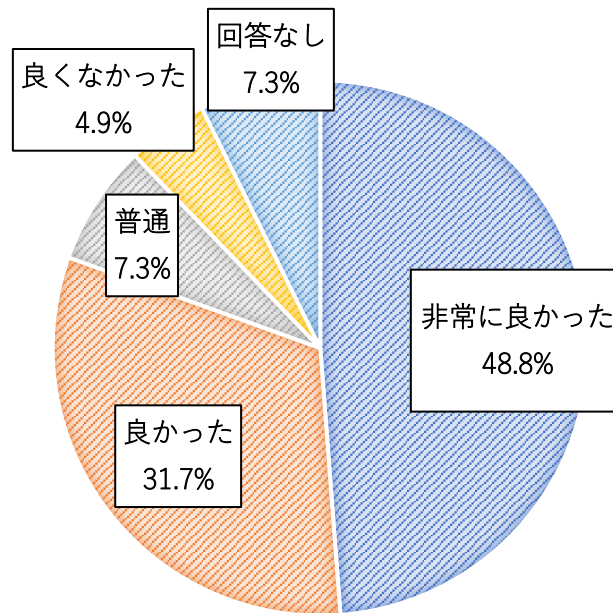
## (1) 本日の講座をどこで知りましたか？



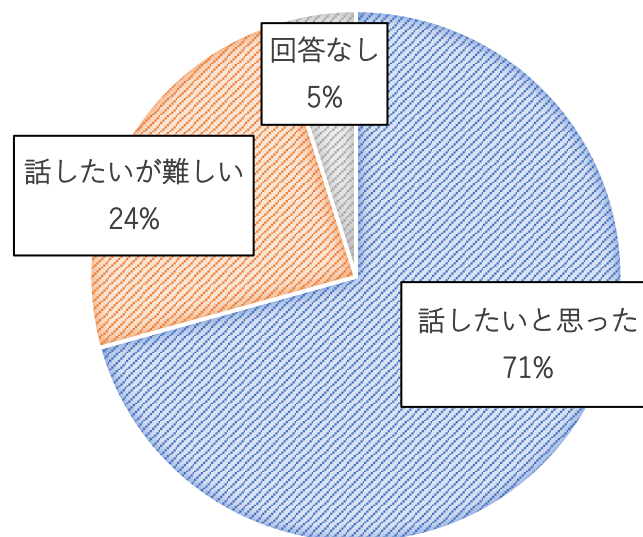
## (2) 本日の講座に参加したきっかけ等を教えてください

- ・実家の両親がそろそろ介護が必要になってきたからです。母親が要介護2で在宅療養中なので、講座で得られるものがあればと思い参加申し込みをしました。
- ・夫と2人暮らし、在宅看護をしています。自分が体調を崩し入院した時、夫を誰にどのように支えていただけなのか大変不安になり参加しました。
- ・体力の衰えを感じ、介護などが必要になった際どのように対応したらよいかといったことの参考になればと思い参加しました。
- ・一人暮らしの際、家族が突然在宅療養に入った経験がありその時はいろいろ大変でした。家族に負担をかけないように、元気なときに決めておきたいと思い参加しました。
- ・末期は絶対在宅療養と決めているので、詳しい情報をいろいろ欲しかったからです。

### (3) 講座全体の評価を教えてください



### (4-1) 自身が今大事にしていることやこれからについて身近な人と話したいと思いましたか？



### (4-2) またその理由をお聞かせください

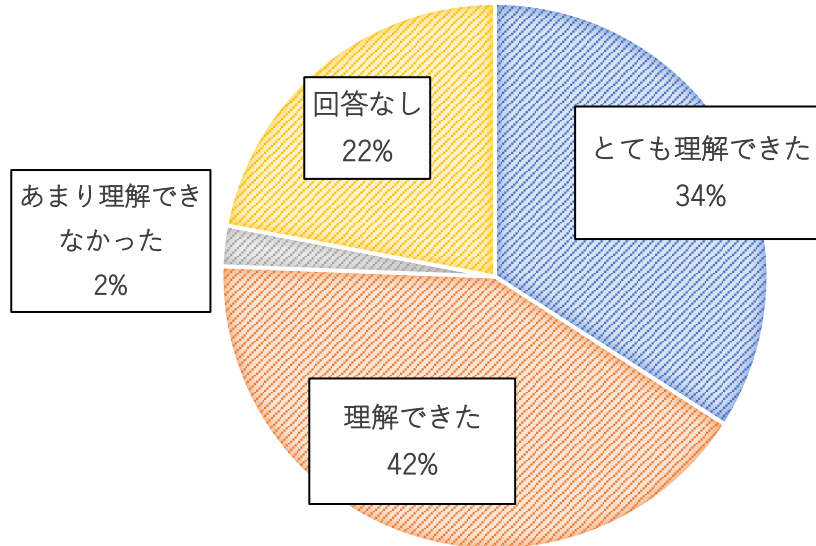
#### 1. 話したいと思った

- ・話す事によって自分の気持ちや家族の気持ちが整理できると思いました。
- ・伝えておかないと希望が届かず、判断をせまられた者が戸惑ったらその方が困るためです。
- ・延命治療など自分の希望を家族に日頃から周知しておくことは必要と感じました。
- ・母の介護を通じて自分の番になったときのことを考えるようになりました。いざというときには間に合わないので元気なうちからやろうと思いました。

## 2. 話したいと思ったが、むずかしい

- ・今までもこのような話題にはあまり取り合ってもらえなかったからです。
- ・家族がいないので、誰に話せばいいか分かりません。
- ・夫は認知症で、なかなか本人の意志を聞き出すのは難しいです。

## (5) 本日の講座の内容は理解できましたか？



## (6) 駒澤大学学生作の作品について感想がありましたら自由にお書きください

- ・スタイリッシュで素敵な作品が多く見入ってしまいました。
- ・とても精巧で美しく、読ませる力にあふれていました。
- ・伝えたいことがよくわかるすばらしい作品だと思いました。プロが作ったものかと思いました。
- ・内容がわかりやすく、色使いなど人の目にキャッチアップする良いポスターだと思いました。ACPは、まだ認知度が低いので色々ところで掲示することいいのではないかと思います。
- ・わたしのパズルというチラシはとてもよくまとまっていて良いなと思いました。最初に色や音楽など答えやすい質問になっていて始めやすいです。
- ・学生さん方の取り組みを知って、世の中まだまだ明るいと感じました。パズルは色合い、問いの言葉選びがしっくりきて、とても良かったです。どの年齢の方にも当てはまることだと思いました。

## (7) ご意見ご感想等がありましたらお聞かせください

- ・ACPという用語は初めて聞きましたが、家族と前もって話をするのは必要なことと思います。
- ・急な入退院を経て、母の在宅療養が始まったので夢中に過ごしていました。今日の講習で在宅療養との向き合い方、ACPについても取り組んで行きたいと思いました。
- ・家族ありきがベースになっているが、高齢の場合一人で暮らしている人（独居）も多いと思うのでそのケースも対象にしてほしいです。
- ・在宅をお願いしたくても、長年お世話になっている主治医を裏切るような気がして言いにくいと聞くことがよくあるので今日のお話はとても参考になりました。
- ・介護者が、仕事で家を開けている場合どんなサービスをうけられるか。費用も知りたいです。
- ・在宅介護となった場合のサポート器具の種類や金額などの講座があればありがたいです。
- ・経口栄養や胃ろうについて現実を知りたいと思いました。

# ACP講座（医療・介護関係者向け）受講後アンケート結果

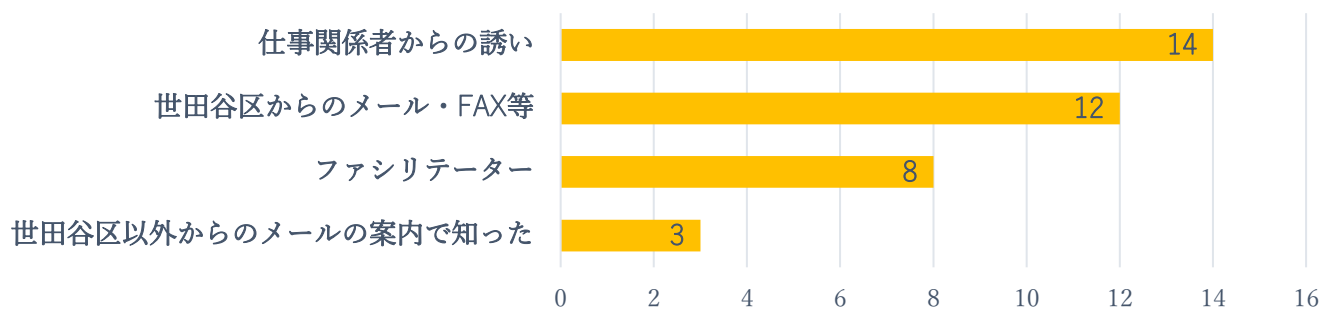
## 1 概要

- ・日時／場所：令和8年1月23日（金）午後7時～9時／保健医療福祉総合プラザ
- ・参加人数：37人（ファシリテーター含む）

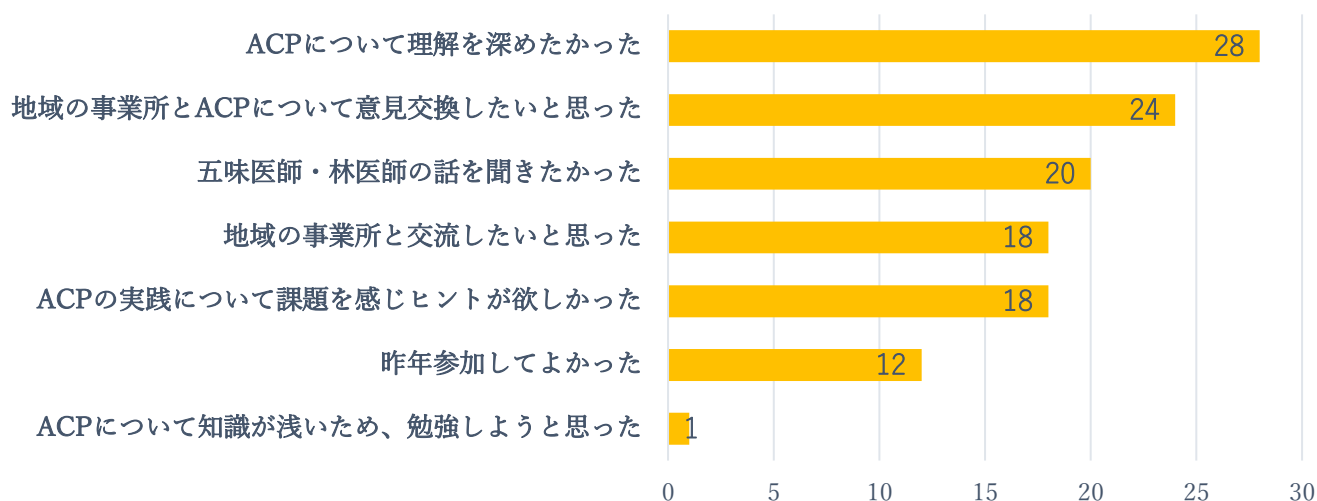
## 2 事後アンケート

- (1) 対象者数：37人
- (2) 調査方法：記入式アンケート（オンライン） ※自由記述欄は抜粋
- (3) 調査期間：令和8年1月23日（金）～1月26日（月）

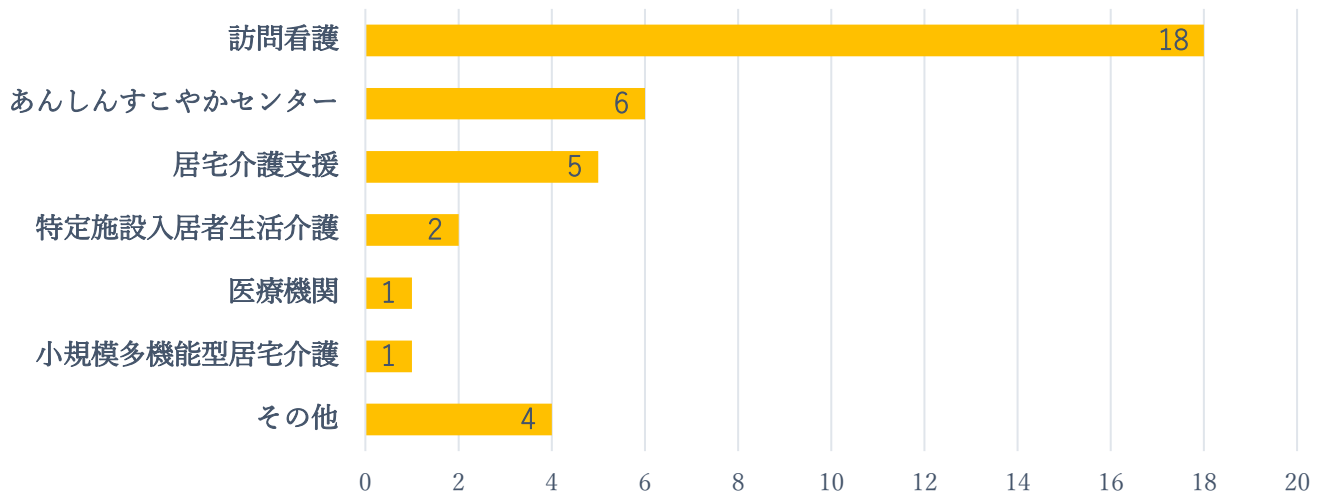
### 1. 本講座に参加したきっかけ



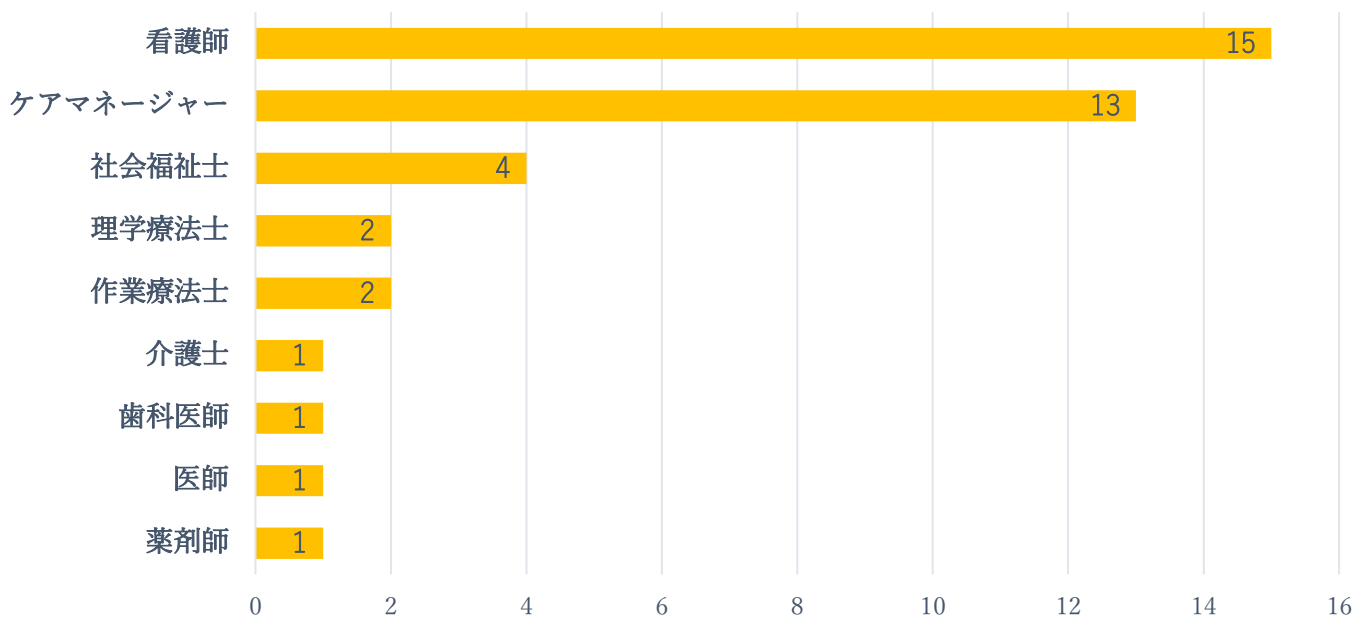
### 2. 本講座に参加した理由（複数回答可）



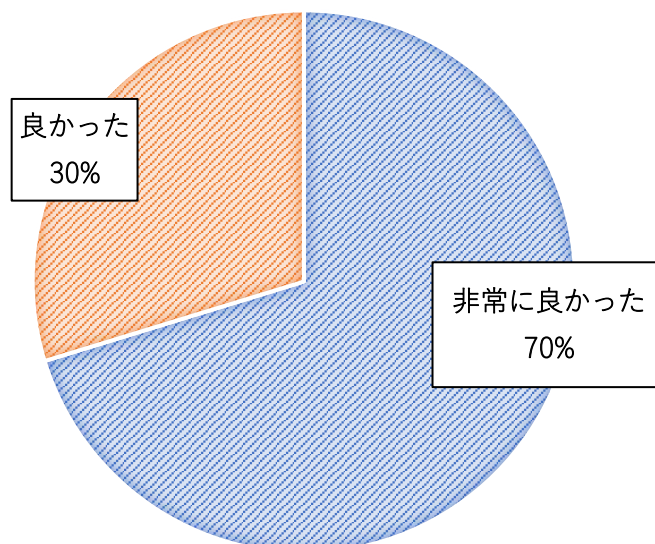
### 3. 事業所種別



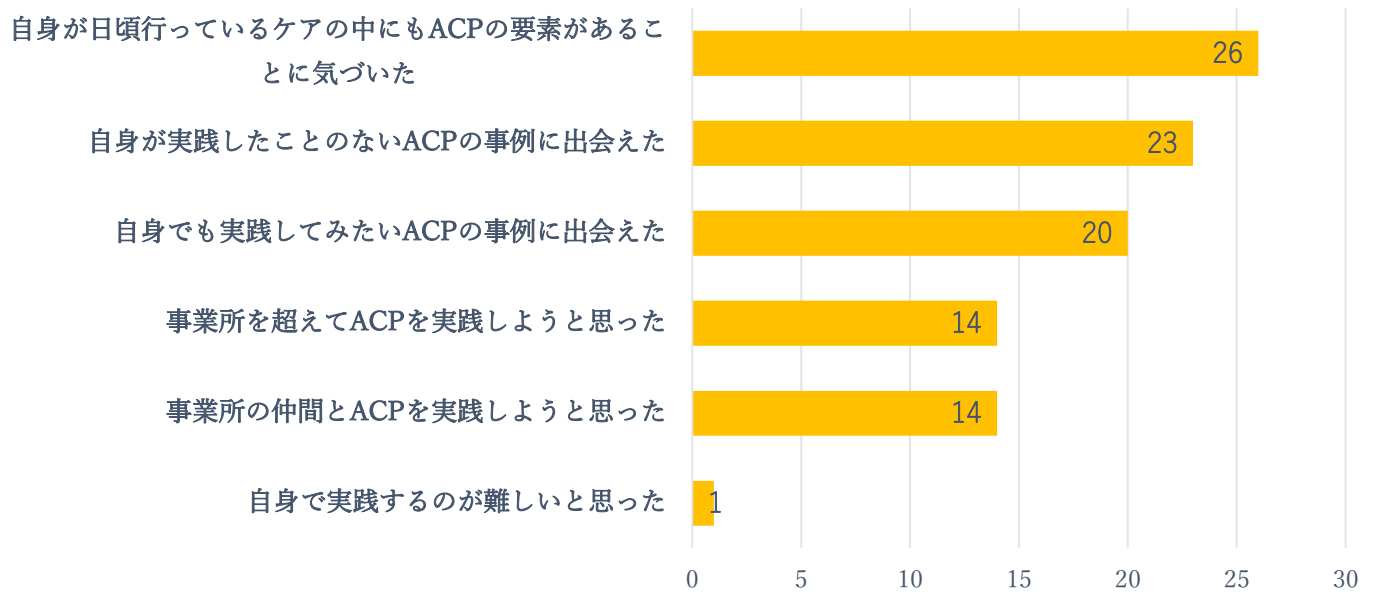
### 4. 職種（複数回答可）



### 5. 講座全体の評価



## 6. 講座を通じてACPの実践についてどのように感じましたか (複数回答可)



## 7. ご感想・ご意見をご記入ください。

- ・ 病院医師と在宅医師のお考えや立場の違いを聞くことが出来たのは有意義でした。
- ・ ACP について多職種・他事業所の方と話す機会がないので、皆さんの考えを知ることができて良かったです。
- ・ グループワークでは、成功事例等を共有していただき大変参考になりました。
- ・ ACP についての実践的な内容、みなさんの関わり方を知ることができました。本人やご家族との普段の会話や、生活から ACP に結びつけられる情報を得ることができることもわかり、実践してみたいと思いました。
- ・ 自分で意思決定ができない状態が、特に難しいと思うので、意思決定できる方にはまずは聞いていくことで、今後の ACP の価値が変わっていくように思いました。
- ・ 普段の関わりの中で、どうしても家族や関係者が「こうした方がいい」と思っている方に引きずってしまいがちです。ご本人の本当の希望を叶えられているのかどうか立ち止まって考える必要性を感じました。
- ・ 日常の中でも選択の機会がたくさんあり、日々の関わりの中かで ACP を行っていきたいと思いました。
- ・ ACP に正解はなくその時々や意思や思いを大事にしていくことが大切だと思いました。
- ・ 認知症の方の ACP、意思とは何かについての深掘りをしたいと思います。
- ・ 病気の受容が困難な方又は家族への説明、対応方法について考えていきたいです。
- ・ 関係者間で価値観のかけらを共有する事の大切さを改めて感じれたので実践したいです。
- ・ 人と関わりたくない方の ACP に取り組んだ事例を聞き、その人の思い、取り組んでいる方々の視点、考え方を聞き、ACP に成功、失敗はない、という事がわかりました。
- ・ 講義の中で狭義の ACP (意向確認) と広義の ACP についての説明があり分かりやすかったです。大事なことだとは思いますが、狭義の ACP にとらわれないように日頃の積み重ねを意思決定に繋げていけるとよいと思いました。